



世田谷区

本庁舎等整備工事 News

<Vol. 8>

新庁舎の地上躯体工事が始まります



区民会館

第一庁舎

2022年12月

世田谷区

庁舎整備担当部

庁舎建設担当課

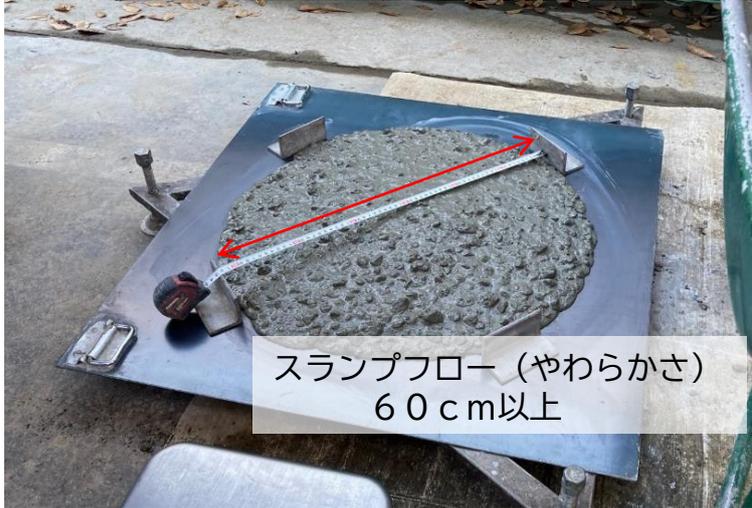
いよいよ地上躯体工事が始まります。

上の写真は、地上で使用する鉄骨等の資材荷揚げ・組立てに使用する最高高さが約70mに及ぶ大型タワークレーンです。

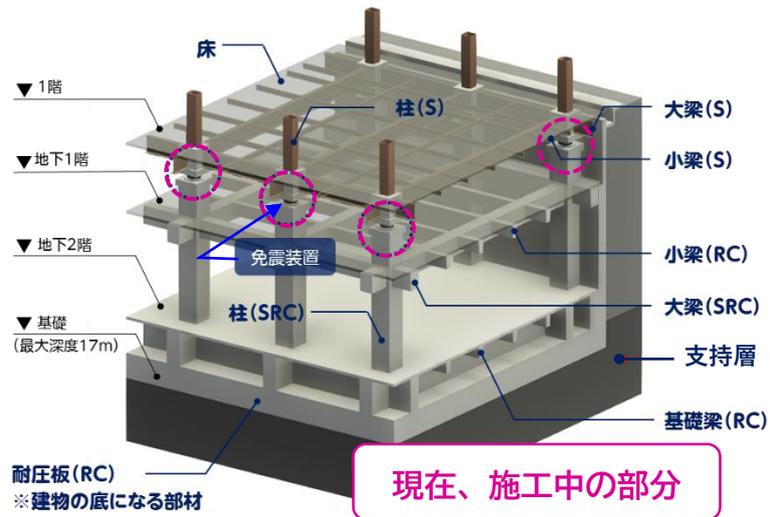
今後、新庁舎建設が急ピッチで進んでゆきます。

東棟

免震構造の建物では、上部の建物荷重を基礎部分に確実に伝える必要があることから、免震装置の基礎部分には、高流動かつ高強度のコンクリートを使用します。また、コンクリートを密実に充填するために、特殊なコンクリート打設工法を用います。



スランプフロー（やわらかさ）
60 cm以上

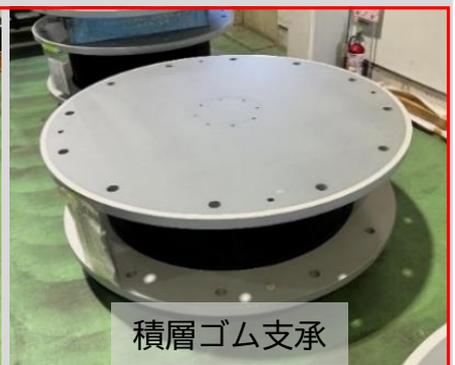
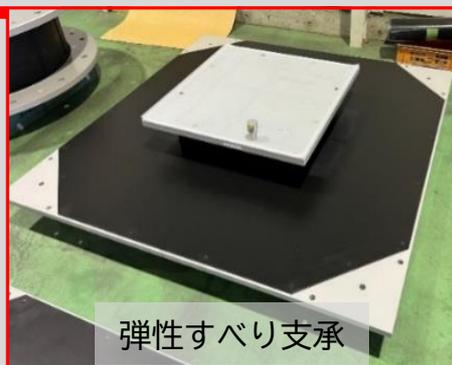


■高流動コンクリート
高流動コンクリートでは、通常よりもやわらかいコンクリートを使用します。一般的なコンクリートでは、スランプフローは30 cm前後です。（左の写真）



上の写真は、免震装置を取り付ける基礎を作っている様子です。免震装置を設置する底板を組み込んだ型枠に、高流動コンクリートを、折れ曲がった片長バンド管を使用して、上部からゆっくり流し込むことで、均一にムラなく打設することができます。右上は、打設完了直後の様子です。一定時間経過後、周囲の余分なコンクリートを除去し、基礎の形を整えます。

左の写真は、型枠を取り外し、免震装置の基礎が完成したところです。今後、基礎上部に組み込んだ底板に下写真の免震装置を設置し、その上部に地上躯体を構築していきます。

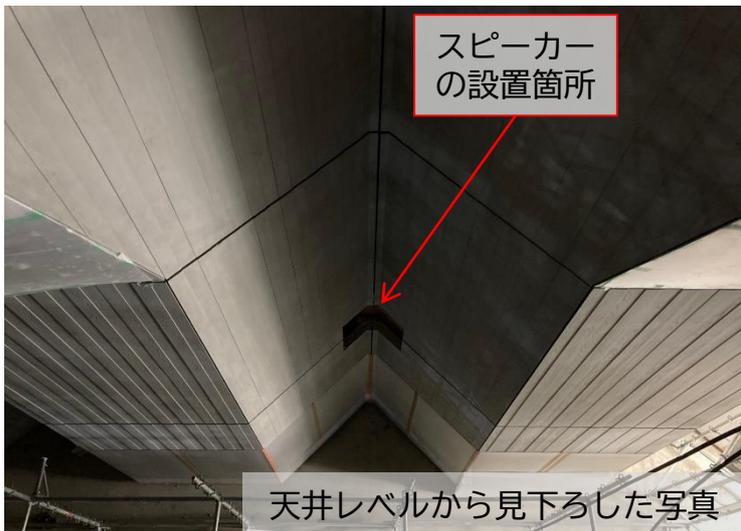


区民会館

区民会館ホール内部では、耐震補強工事と同時に、仕上げ工事も並行で進めています。ホールの内壁には、GRCと呼ばれる建材を使用しています。GRCとは、セメントをガラス繊維で補強した複合材料で、高強度かつ軽量なうえ、デザインの自由度、高い耐久性が特徴です。内壁に使用することで、ホールの遮音性と音響性能向上を図っています。



■ GRCパネル（上の写真）
区民会館の既存外壁の杉板型枠の模様を模したデザインとしています。



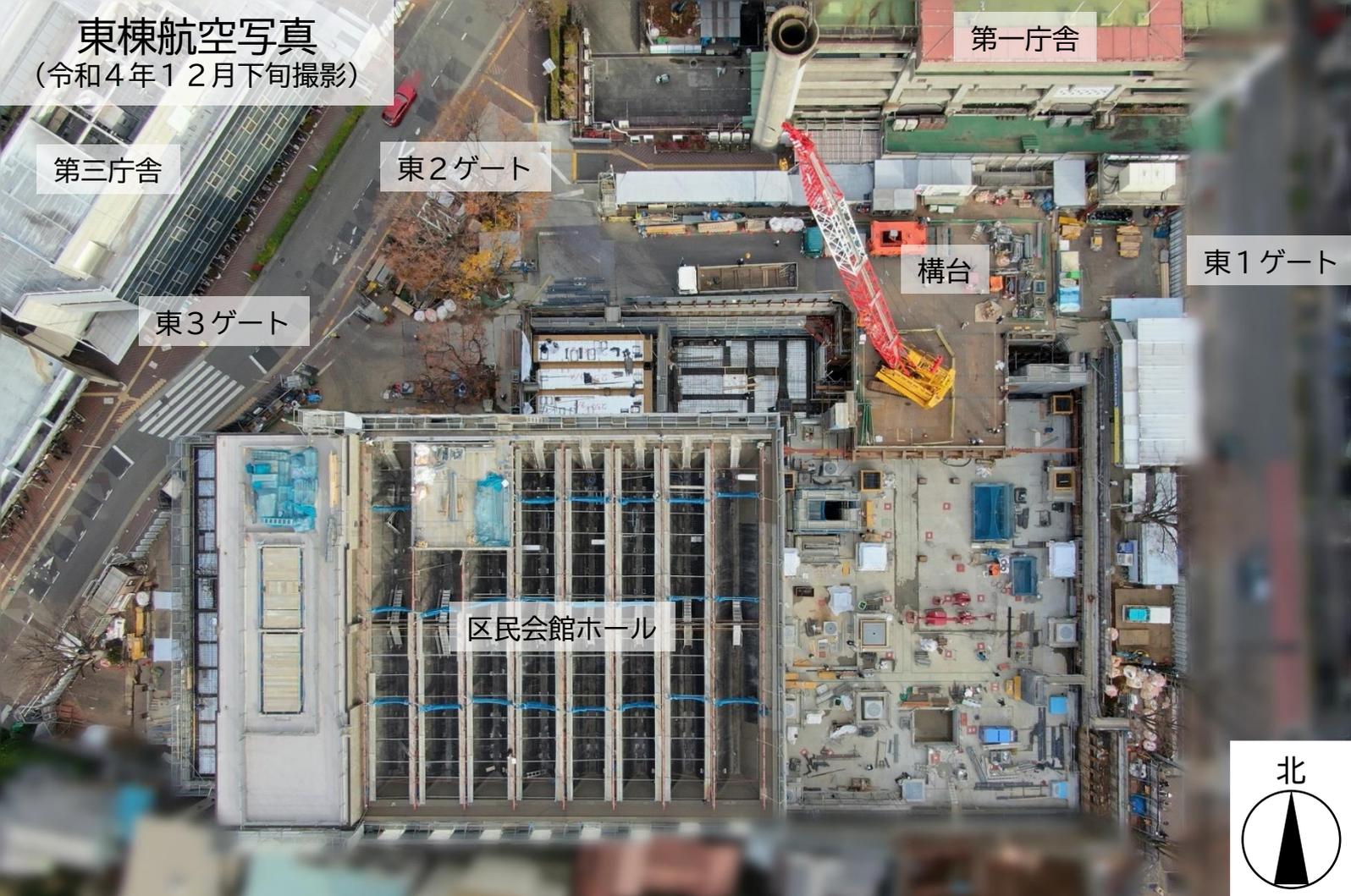
GRCパネルを建て込んだ様子。杉板型枠の模様には数ミリの段差をつけ、数パターンのパネルをランダムに設置しています。（上、右の写真）



■ 区民会館ホールの座席モックアップ（左の写真）
第一庁舎1階のinfo場にて展示されている、区民会館ホールの座席モックアップ（模型）です。実際に施工されるものとは多少違いがありますが、おおむね同様の仕上がりとなります。

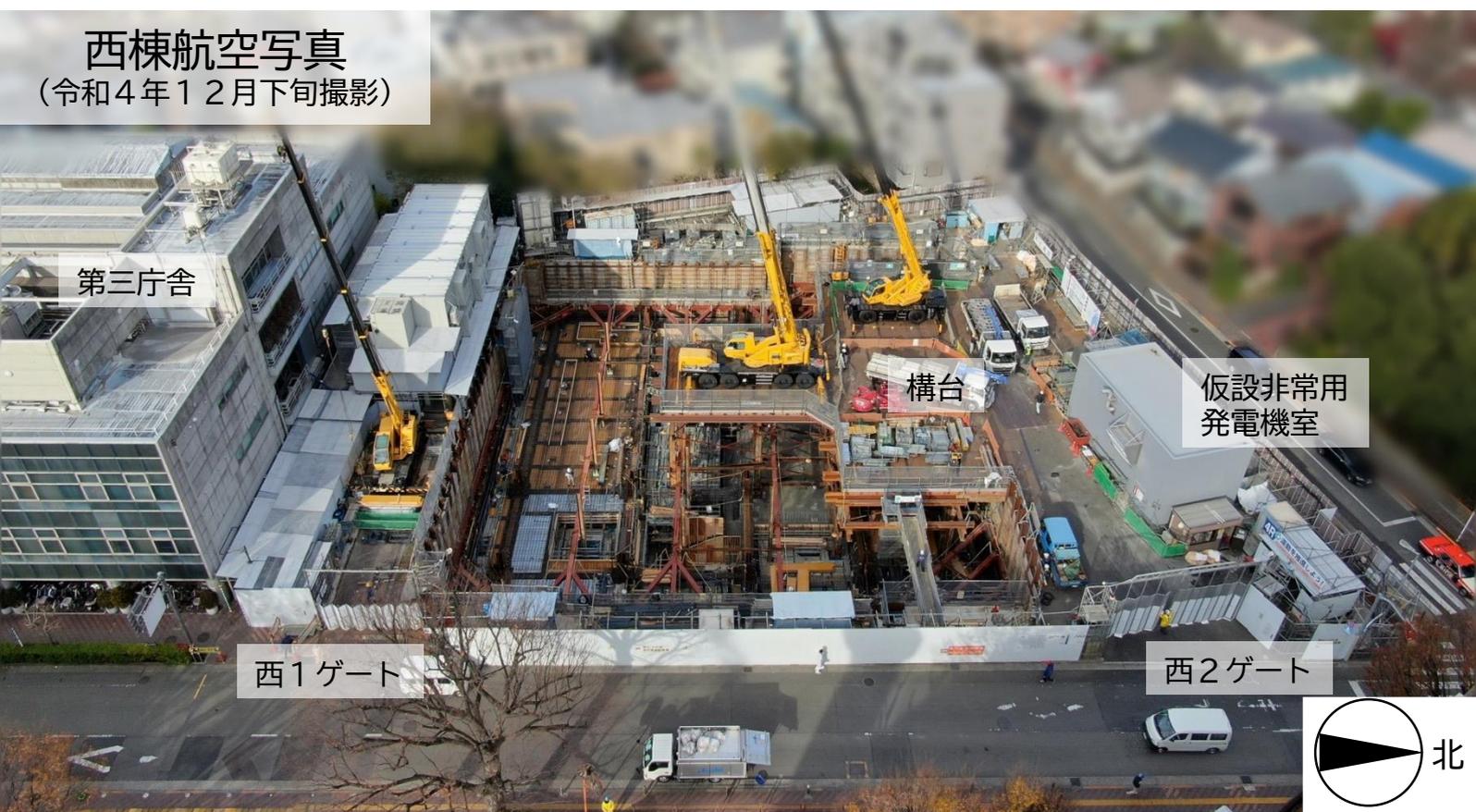
東棟航空写真

(令和4年12月下旬撮影)



西棟航空写真

(令和4年12月下旬撮影)



作成 世田谷区庁舎整備担当部庁舎建設担当課
〒154-8504 東京都世田谷区世田谷四丁目21番27号
電話：03-5432-2986 FAX：03-5432-3006
協力 大成建設株式会社東京支店